

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 平成23年度総会議事録

開催日時 平成23年5月22日（日） 14時00分～15時20分

開催場所 横浜市民防災センター 1階研修室

1. 開会の辞

日置事務局長（7L4UJY）より、本総会の司会を務める旨の挨拶と来賓へのお礼に続き、開会に先立ち東日本大震災の犠牲者に対し1分間の黙祷を捧げた後、総会の開会宣言がされた。

2. 斉藤会長（JR1NUW）挨拶要旨

来賓のご臨席にお礼。本総会に横浜市から毎年ご臨席いただけるのは、本会に寄せる期待が大きいと信じている。この度の東日本大震災時に行政のデジタル防災無線に何らかの不具合が生じ円滑な防災無線としての運用が出来なかったと聞いている。我々の活動は、行政との連携が不可欠であるが、今回のデジタル防災無線不具合から逆説してアマチュア無線の大切さを痛感した。

3. 来賓の挨拶要旨 横浜市消防局情報技術課 副島係長（同席 新任池田係長）

昭和47年以来、本会の横浜市への協力に感謝の言葉。

3月11日の震災時に取られた非常通信協力会のレポートを見せ頂き、その協力に感謝します。内容を読み返して、今後の参考にさせていただきます。

今回のデジタル防災無線の不具合は業者と調整中であるが、8月28日に瀬谷区で行われる総合防災訓練時に再度通信実験を行い問題解決を致します。なおNTTドコモと連携して携帯への非常時情報発信を計画しています。

4. 議長の選出

司会は、会場に立候補、推薦を諮る。出席者からの一任の声に指名する旨を諮り、小野理事（JF1RQD）を指名した。（拍手で承認）

5. 書記の選出

議長は、書記に鈴木副会長（JA1UVS）木村理事（JA1POT）を指名した。

6. 会議成立の報告

議長は、事務局長へ定足数の確認を求めた。

事務局長より、定数と本日の出席状況の報告。

定足数 支部長 + 代議員 = 54名、支部長を兼任しない理事と幹事 = 9名、合計63名。出席状況 = 出席者46名 + 委任状6名 = 52名。

規約16条1項の規定により、過半数と認め、本会は有効成立の報告がされた。

7. 議案の審議および報告

第1号議案 平成22年度事業報告、会計報告、監査報告

事業報告については、斉藤会長より、総会資料に沿って報告があった。

会計報告は宇田川理事（J G 1 U A E）より収支ゼロ、従って報告内容は無しと行事の監査を致しましたが問題は有りませんでした。の発表があった。

（質疑応答）

質疑は無く、挙手多数で承認された。

第2号議案 平成23年度事業計画案

会長より総会資料に沿って発表説明された。

中でも市に要望していた無線機（I C - 9 1 1）が製造中止のため、6月末までに再検討し、再提出の予定である。また市役所と各区役所との電波伝搬の状況調査を行います。延期となっていた防災講演会は後ほど片山副会長より説明します。今年の総合防災訓練は瀬谷区が担当になります。

（質疑応答）

Q. 旭区支部宮本代議員（J A 1 S K Y）：機器の買い替えについて、前もって予算を確保するなどの手当が必要なのでは？V・U機が無くなるとHF迄の高価な物を買うのか？

A. 会長：震災時にデジタル防災無線の不具合（不慣れ、チャンネル数？）があったためにやはりアマチュア無線は有効な手段であるとの判断を行政が感じ取ってっていると思うので積極的に買い替え導入に動くよう進めたい。機種については現在調査中ですが、適正に対処したいと思います。

Q. 電波伝搬の実験日程をハッキリして欲しい。第2，4土曜日を希望。

A. 会長：総合防災の日に行いたい。

Q. 防災講演会の日程は

A. 片山副会長理事：7月24日の支部長会の日にしたい。場所は未定だがN T Tの会議室になるかも知れない。

議長からのお願いとして今年も赤レンガの防災フェアが8月末に予定されています。日にち未定ですが立候補をお願いします。

以上の質疑が終わり、挙手多数で承認された。

第3号議案 その他

（1）震災に対する対応策について

会長：具体的な対応策はないが震災発生直後、緊急理事会を予定したが停電のため交通手段に問題があり開催不可であった。また私事ですが非常用バッテリーが起動しなかった。各員も注意するように。また、各支部にあってはどのような対応を取られたかのアンケートを取りました。（別紙参照）

(質疑応答)

Q. 南区支部山田支部長 (J J 1 A K B) : 災害時の出動要請又は宣言、或いは自主的に出動した場合の事故について補償関係を知りたい。

A. 会長 : 自発的参加でも補償は有ると考えられるが、後日ハッキリさせます。日置事務局長より補足説明有り。(平成16年に中田市長と西山会長との間での協定があり、消防団の出動規定に準ずると明記。自主的出動については規定されていないので明文化します。)

Q. 磯子支部吉村代議員 (7 L 1 S E D) : 隣接市町村に非常通信組織が有れば教えて欲しい。また周波数割り当ての懇親は無いのか

A. 青葉支部野口支部長 : 青葉区での事例として、川崎市とハムネットとして協力したことがある。

議長 : 詳しくは解らないので、支部長会等或いは隣接支部で調査して情報を掴んでいただければ幸いです。

(2) 会員の状況について

片山副会長より会員数の報告があった。(NET公開上)

拠点数より会員数の方が少ない支部があります。毎年3月31日現在の会員登録をしている。毎年のことなので時期になったら出して欲しい。現時点での登録数は915名。この名簿は保険対象の名簿であるので、支部長等の代表者以外の詳細は不要であるが氏名と従事者免許番号だけは必須です。

(3) 区役所局の無線設備について

設備担当小野理事より報告。区役所局の無線機の異動は無かったが、点検報告が鶴見区・神奈川区・瀬谷区書類が未提出である。無線機の不具合のある5区についての買い換えについて再度要請しておきます。

電波利用料の書類が届いたら、開封せずに危機管理室に転送してください。

(質疑応答)

Q. 南区支部山田支部長 : 1200MHzのレピーターが廃局した今1200MHzまでは不必要なのではないか、その費用を多くの支部に振り分けたと提案。

A. 今後の課題とします。

(4) その他

支部長会担当川畑理事 (J F 1 X B Q) より活動報告と当時の各支部の対応について支部長会にてレポートをまとめたので配付資料を見ていただきたい。これは危機管理室にも提出・参考にされる予定です。

議長が3号議案に付いて賛否を求め、賛成挙手多数で承認された。

司会により議案の審議がすべて終了したので議長・書記が解任された。

8. 閉会の辞

片山副会長により首都圏大地震の際は大いに活躍できるよう期待を込めての一言が有り、15時20分閉会した。

<総会出席者>

本部：齋藤会長、片山、鈴木副会長、宇田川監事、川畑、日暮、松永、半田、小野、木村理事、日置事務局長（アンダーラインは支部兼任者）

鶴見 区：堀川支部長、浦野代議員

神奈川区：出席者無し

西 区：鈴木代議員

中 区：中村支部長、横山代議員、松崎代議員

南 区：山田支部長、

保土ヶ谷区：太田支部長

磯子 区：片山支部長、中嶋代議員、吉村代議員

金沢 区：安田支部長、菊池代議員、深浦代議員

港北 区：高野支部長、松崎代議員、山崎代議員

戸塚 区：姫本支部長、水野代議員、田中代議員

港南 区：佐野支部長、伊東代議員

旭 区：鈴木支部長、浅石代議員、宮本代議員

緑 区：平林支部長、内田代議員、大瀧代議員

瀬谷 区：吉澤代議員、椎野代議員

栄 区：橋本支部長、加峯代議員

泉 区：川畑支部長、山口代議員、萩原代議員

青葉 区：野口支部長、上野代議員

都筑 区：半田支部長、吉田代議員、吉田代議員